

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミB	単位認定	1	山中 愛美
<p>【授業のテーマ及び到達目標】 テーマ:運動あそびを考える 到達目標:これまでも子どもの体力低下が問題視されてきた。しかし社会を見渡すと、より利便性が重視された風潮に流され、子どもたちが安心して遊べる「空間・時間・仲間」は奪われていく一方である。 本ゼミでは、多様な運動あそびの経験を通して体を動かす楽しさを理解し、教育・保育現場での実践力を高める。</p>			
<p>【授業の概要】 本ゼミは通年で開講するため、子ども学ゼミAを履修していることを前提とする。 ゼミ前半では、ICTを活用して身体動作のメカニズムを探る。それらの情報を基に子どもがつまづきやすい運動課題について検討し、運動あそびのプログラムを作成する。ゼミ後半は、ゼミで学習した内容をまとめる。</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前期ふり返り・後期活動計画の作成 2. 動きのコツを探る①(動画撮影) 3. 動きのコツを探る②(動作分析) 4. 動きを言語化する 5. 運動課題を見つける 6. 教材研究・開発①(用具を使用するあそび) 7. 教材研究・開発②(用具を使用しないあそび) 8. 教材研究・開発③(大型用具を使用したあそび) 9. 発表①(用具を使用するあそび) 10. 発表②(用具を使用しないあそび) 11. 発表③(大型用具を使用したあそび) 12. 論文作成①(文章構成) 13. 論文作成②(校正) 14. 論文作成③(完成) 15. 論文発表会 			
<p>【準備学習の内容】</p> <p>予習のあり方:子どものあそびについて興味を持ち、情報を収集しておくこと。</p> <p>学習のあり方:活動に積極的に参加すること。</p> <p>復習のあり方:授業内での課題を明確にし、解決策を考えること。</p>			
<p>【成績評価】 授業態度(30%)、レポート提出(30%)、発表(40%)</p>			
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】 発表した作品はフィードバックできるよう、後日データで配布する。</p>			
<p>【テキスト】 特になし</p>			

【参考文献】

適宜、紹介する。